



< 報道用資料 >

2017年1月18日
泰星コイン株式会社

アジアで20年ぶり3回目の冬季オリンピック開催へ
大会記念コイン初の“潜像加工”を施した金貨など5種類
オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018公式記念コイン
1月23日(月)より、国内第1次予約販売開始

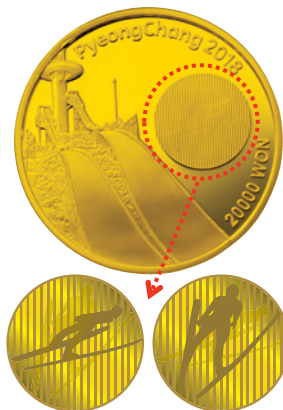
泰星コイン株式会社(本社:東京/社長:岡 政博)は、「オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018公式記念コイン」の日本国内での第1次予約販売を、全国の主要金融機関などを通じて1月23日(月)より開始いたします。このコインは、韓国では初、アジアでは札幌・長野に次いで3番目に開催される冬季オリンピックを記念して、韓国造幣公社が鋳造し、韓国銀行が発行するものです。第1次となる今回は、全11種の中からデザイン性や日本での話題性などを吟味して厳選した金貨1種、銀貨4種を日本国内で販売いたします。

金貨1種と銀貨4種。日本への割当は各1,200枚

金貨の発行限度数は15,000枚、銀貨は各25,000枚の限定発行で、日本への割当は、金貨1,200枚、銀貨各1,200枚。これまでの冬季オリンピックの記念コインの中でも、希少価値が高いものとなります。販売する種類と価格は、金貨が<スキージャンプ金貨>280,800円、銀貨が<スピードスケート銀貨><ボブスレー銀貨><アイスホッケー銀貨><カーリング銀貨>の4種セットで49,680円(いずれも税込み価格)。

大会公式記念コインとして初、「潜像加工」を施した金貨

オリンピック競技大会の公式記念コインとして初めて“潜像加工”を施した<スキージャンプ金貨>は、コインの傾きによってジャンパーが動いているように見える躍動感を表現したユニークなデザインを採用。これは、見る角度で生じる明暗の差を利用し、線の構成によって像を見え隠れさせる最新の加工技術で、流通貨幣の偽造防止技術としても世界で数例ほどしか採用されていません。また、特殊加工を採用した記念コインとしても、2010年のバンクーバー冬季競技大会の「ホログラム加工」以来2例目となります。



見る角度でデザインが変化する“潜像加工”

氷上競技のスピードと躍動感を写実的に表現した銀貨

銀貨デザインは、国内でも馴染みのある<スピードスケート><ボブスレー><アイスホッケー><カーリング>の4種類をセレクト。いずれも氷上の競技に挑むアスリートの姿が写実的にデザインされ、氷の質感やスピード感、躍動感が強調されています。



金・銀共通、大会公式エンブレム刻印

全ての金貨・銀貨の表面には、大会公式エンブレムが刻まれています。氷や雪、アスリートなど、その冬、ピョンチャンに集まる全てを組み合わせ、誰にでも開かれている世界を表しており、ピョンチャンの頭文字であるハングル文字のPとChがモチーフとなっています。



大会公式エンブレムが刻印

オリンピック競技大会記念コインにふさわしい“純金・純銀”(高品位99.9%)

金貨・銀貨ともに純度99.9%(純金・純銀)を実現。オリンピック競技大会記念コインとしては、高水準の品位となっています。

参 考



東京オリンピックで発行された
“日本で最初の記念コイン”
1,000円銀貨

日本で最初の「記念コイン」は1964年東京オリンピックを記念して発行された、100円銀貨と1,000円銀貨。100円銀貨8,000万枚、1,000円銀貨1,500万枚を発行、金融機関の窓口での両替という形式で交付されましたが、大行列ですぐに品切れになりました。以後、国内での記念コイン人気に火が付き、様々なコインが発行されてきました。2020年の東京オリンピックに向けて、2016年9月に造幣局から1,000円銀貨が発行されています。

日本での記念コインの誕生

Olympic Winter Games PyeongChang 2018 Commemorative Coins



オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018公式記念コイン 販売概要

価格■

単品	A スキージャンプ金貨	280,800円	(限定1,200枚)
セット	B 銀貨4種セット ＜①スピードスケート銀貨 ②ボブスレー銀貨 ③アイスホッケー銀貨 ④カーリング銀貨＞	49,680円	(限定1,200セット)

※ いずれも税込み価格です。
 ※ 銀貨はセット販売のみとなります(単品販売はいたしません)。
 ※ 各商品すべてに特製ケースと発行証明書を付けてお渡します。

規格および発行限度数■

	デザイン	額面	品位	重量	直径	状態	発行限度数	対日割当数
金貨	スキージャンプ金貨	20,000 ウォン	99.9%	15.55g	28.0mm	プルーフ	15,000 枚	1,200 枚
銀貨	①スピードスケート銀貨 ②ボブスレー銀貨 ③アイスホッケー銀貨 ④カーリング銀貨	5,000 ウォン	99.9%	15.55g	33.0mm	プルーフ	各 25,000 枚	各 1,200 枚

※プルーフとは、観賞用に美しく磨かれた鏡面仕上げのことです

予約販売期間 ■ 2017年1月23日(月)～2月3日(金) ※期間内でも限定数に達した時点で終了

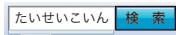
発行国 ■ 韓国銀行(铸造:韓国造幣公社)

輸入元 ■ 泰星コイン株式会社

販売窓口 ■ 全国の主要金融機関 ☞ 詳細は P.7 をご覧ください

本件に関するお問い合わせ先


 「オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018公式記念コイン」事務局 (泰星コイン内)
 〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-23-2 UBG 東池袋ビル1階
 TEL. 03-3590-8276 担当/馬場、小野、奥野、庄司
 FAX. 03-3590-8305 E-mail : secretariat@taiseicoins.com
 URL : <http://www.taiseicoins.com/bank.html>



➡ 商品画像がダウンロードできます * 当社サイトの下記バナーよりアクセスできます。どうぞご利用ください。

泰星コイン top ページ ▶



▶ 報道者様向けダウンロードはこちら ** パスワード : KOREA **



商品の一覧

A スキージャンプ金貨

280,800円(税込)

限定1,200枚

額面:20,000 ウォン 品位:99.9% 重量:15.55g 直径:28.0mm 状態:プルーフ



B 銀貨4種セット<①スピードスケート銀貨 ②ボブスレー銀貨 ③アイスホッケー銀貨 ④カーリング銀貨>

49,680円(税込)

限定1,200セット

額面:5,000 ウォン 品位:99.9% 重量:15.55g 直径:33.0mm 状態:プルーフ





デザインと解説

金貨と銀貨

金貨・銀貨共通〈表面〉

金貨、銀貨ともにコインの中央に堂々と公式エンブレムを刻みつけたシンプルかつシャープなデザイン。その周囲を取り囲む形で〈オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018〉のハングル表記、発行年等が刻印されています。



金貨
実物サイズ



銀貨
実物サイズ

額面: 20,000 ウォン
重量: 15.55g 直径: 28.0mm

額面: 5,000 ウォン
重量: 15.55g 直径: 33.0mm

金貨〈裏面〉

スキージャンプ金貨

1800年代、ノルウェー・テレマーク地方で競技化されたスキージャンプ。今大会のメイン会場〈アルペンシア・スタジアム〉が立体的に描かれ、そこから高く飛翔する選手の動きを、オリンピック記念コイン史上初めて施された“潜像加工”でダイナミックに表現。コインを見る角度によって2つのジャンプ中の姿を見ることができる。



見る角度でデザインが
変化する“潜像加工”

銀貨〈裏面〉

①スピードスケート銀貨

オランダ発祥とされ、冬の間、凍結した運河や川をわたる移動手段として発達したスケート。時速約60kmの速度で激しいコーナーを果敢に攻めながら、氷上を駆け抜ける選手の気迫ある表情、逞しい筋肉の動きまでが繊細な加工で描かれている。



②ボブスレー銀貨

スイス・アルプス地方でリゾート客用のソリ遊びとして生まれたものが発祥とされるボブスレー。最高時速130kmに達し、そのスピード感やスリル、迫力から〈氷上のF1〉とも呼ばれる。そのまさにスタート直後の選手達の勢い、氷のようなプルーフ面を滑るソリに乗り込む1コマが描かれている。



③アイスホッケー銀貨

1879年、カナダの学生がホッケーとラグビーを参考にルールを考案したとされ、北米を代表するウィンタースポーツに発展したアイスホッケー。〈氷上の格闘技〉とも呼ばれる激しい競技のバックがゴールに決まった瞬間の躍動、防具のシワまで精緻な刻印で描かれている。



④カーリング銀貨

15世紀のスコットランドを発祥とするカーリング。競技名は、丸いストーンを投げると、髪がカールするようにゆっくり回転すること由来する。選手の手を離れたストーンが鏡のように磨かれた氷上を滑り、奥の選手がそれを導く様子が描かれている。





(参考)

オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018について

■大会概要

- ▶大会名:オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018
- ▶開催地:韓国・ピョンチャン 他
- ▶開催日:2018年2月9日(金)～2月25日(日)(17日間)
- ▶実施競技・種目:15競技

■開催地:ピョンチャン(平昌)

●韓国のアルプス・ピョンチャン

ソウルから約200km。韓国北東部、険しい山々が連なる江原道(カンウォンド)地域。その中南部に位置するのが、来るべき熱戦の舞台<ピョンチャン>。標高700mを超える高原に手つかずの大自然が美しく広がり<韓国のアルプス>と称されることも。夏は山や渓谷を楽しむ避暑地として、冬はウィンタースポーツのメッカとして多くの観光客で賑わいます。周囲には数々のレジャー施設が点在し、大会後は国際的な観光名所をめざしています。



オリンピック記念コインの誕生について

第2次世界大戦後に開催された1952年「第15回ヘルシンキオリンピック」。フィンランドは戦後の復興を成し遂げた記念という意味を込めて開催されたオリンピック競技大会で、世界初となるオリンピック記念コイン「ヘルシンキ大会記念500マルカ銀貨」を発行しました。

1964年「第18回オリンピック東京大会」では、日本で最初の記念コインとなった100円と1,000円の銀貨が発行されました。

発行枚数1,500万枚の1,000円銀貨(100円銀貨発行枚数は8,000万枚)はすぐに品切れとなり、発行による収益は大会運営費に充てられました。この成功がきっかけとなり、その後の1968年メキシコオリンピックでも記念銀貨が大量に発行されました。



ヘルシンキ大会記念
500 マルカ銀貨



“日本初の記念コイン”オリンピック東京大会
1,000円銀貨と100円銀貨

以降は、オリンピックの開催ごとに記念コインが発行され、その収益が大会運営費に充てられることが定着しました。

また、東京2020オリンピック競技大会に向けて、2016年9月20日に造幣局から1,000円銀貨のハンドオーバーコイン(リオ2016-東京2020オリンピック競技大会開催引継記念)が販売されました。



ごあいさつ



『オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018公式記念コイン』が発行されることを、大変喜ばしく思います。これは本大会の公式記念コインです。

ちょうど30年前、1988年にソウル大会が開催されて以来、韓国では2回目のオリンピックとなります。

このコインが、オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018の記憶をいつまでも語り継いでくれることを望んでいます。

オリンピック冬季競技大会ピョンチャン2018公式記念コインには、ピョンチャンの風景、そして韓国の伝統とウィンタースポーツとの繋がりが描かれています。

また、ウィンタースポーツの躍動感、スピード感が写実的に表現されています。

ピョンチャン-空と大地が出会う場所-で開催されるオリンピック冬季競技大会を記念したこのコインは、コレクターの方々に沢山の意義をもたらすだけでなく、歴史上の記録、そして人類の遺産となることでしょう。

Hee-beom Lee.

President & CEO

PyeongChang Organizing Committee for the 2018 Olympic and Paralympic Winter Games

ピョンチャン冬季オリンピック競技大会組織委員会会長

李熙範(イ・ヒボム)



販売窓口

都市銀行	りそな銀行、埼玉りそな銀行	(2)
地方銀行	足利銀行、阿波銀行、伊予銀行、岩手銀行、北九州銀行、 近畿大阪銀行、群馬銀行、四国銀行、清水銀行、十八銀行、 スルガ銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、中国銀行、筑波銀行、 東北銀行、鳥取銀行、富山銀行、南都銀行、八十二銀行、 百五銀行、百十四銀行、広島銀行、福井銀行、北越銀行、 北陸銀行、北海道銀行、北國銀行、三重銀行、武蔵野銀行、 山口銀行、山梨中央銀行	(32)
第二地方銀行	愛知銀行、香川銀行、京葉銀行、高知銀行、島根銀行、第三銀行、 東和銀行、徳島銀行、栃木銀行、富山第一銀行、東日本銀行、 もみじ銀行	(12)
労働金庫	全国の労働金庫各支店	